

栽培実証結果共有

①ぴかいいちファーム

1. 生産実証の結果共有 - ぴかいちふぁーむ（北海道 共和町）

◎栽培の教訓：

- 不耕起（A2）：出芽したが、残渣物に覆われて稲が死んでしまうことが多かった。残渣物が少ないところではきっちりと稲が生育した。
- たい肥などの動物系有機物を施肥することで、収量が上がるのが感覚として分かってきた。
- 除草剤は何とかなった。
- 輪作をしており、DDSR 1 年目の圃場はカメムシの被害が少なかった。一方、連作した圃場ではカメムシの被害があった。小麦粉、かぼちゃ、メロンなど何でもよいが、輪作することで農薬コストが下がるだろう。

◎来年度の予定：

- 残渣物が表面に残りすぎないように、残渣物をおこして播種床を作成する。

1. 生産実証の結果共有 - ぴかいちふぁーむ（北海道 共和町）

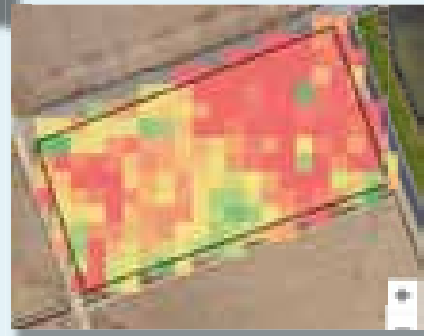


残渣物により発芽が影響を受けた圃場



DDSR圃場

②ヤマザキライス



- ※ 水稻110ヘクタール
- ※ 生産コスト6.4万円/10a
- ※ 玄米生産コスト116円/kg
- ※ データ化・見える化
- ※ 全面積xarvio AIにおまかせ
- ※ 補助金は基本なし
- ※ 田んぼ毎に偏差値評価
- ※ 8月1日から稲刈り

埼玉めっちゃ暑い！



(GPS+RTK)



115坪の極小倉庫



自動操舵トラクター（113馬力）2台
ガルビオ対応変施肥田植機（8条）1台
収量ロボットコンバイン（7条）1台
計4台でのシンプル経営

- ※ 完全週休2日制(残業なし)
- ※ 社会保障・各種手当
- ※ 一般中小企業とする考え方

簡単に振り返り

4月30日播種



播種からおよそ4週間後

5月22日

6月4日

播種から3週間後





